

芝浦工業大学校友会岩手支部会則

第1章 総 則

- 第1条 本支部は芝浦工業大学校友会岩手支部（以下「支部」）と称す。
- 第2条 本支部の事務所を盛岡市に置く。
- 第3条 本支部は会員相互の親睦を図り、校友会本部に協力し、会員の福祉向上を図るものとする。

第2章 会 則

- 第4条 支部会員は岩手県に居住し、またその他近郊に居住し、校友会会則による芝浦工業大学校友会会員を以って組織する。
- 第5条 支部会員より会費を徴収することが出来る。

第3章 事 業

- 第6条 本支部は次の事業を行う。
- (1) 校友会本部との連絡。
 - (2) 支部会員名簿の発行。
 - (3) 支部総会の開催。
 - (4) その他支部の目標を達成するに必要な事業。

第4章 役 員

- 第7条 本支部には次の役員を置く。
- | | |
|------|-----------|
| 支部長 | 1 名 |
| 副支部長 | 2 名 |
| 幹 事 | 若干名 |
| 会計幹事 | 2 名 |
| 会計監査 | 2 名 |
| 顧 問 | 若干名（新規追加） |
- 第8条 役員の選出は支部総会の決議による。
- 第9条 役員の任期は総べて2年とする。但し再選は妨げない。
- 第10条 本支部に総会の議を経て顧問若干名を置くことが出来る。
- 第11条 役員に欠員が生じた場合、補充役員の任期は前任者の残期間とする。
- 第12条 役員が辞任するときは幹事会の承認を必要とする。
- 第13条 任期満了といえども後任者が就任するまではその職務を行わなければならない。
- 第14条 支部長は支部を代表し、支部を統括する。
- 第15条 副支部長は支部長を補佐し、支部長事故ある時はその職務を代行する。

第16条 正副支部長は支部規約に規定する重要事項及び支部の運営上必要な企画、立案の事項を審議する。

第17条 支部幹事は次の事項を審議決定する。

- (1) 事業報告及び収支決算
- (2) 事業計画及び収支予算
- (3) 支部会則の制定及び改廃
- (4) 支部会則による役員の選出
- (5) その他必要と認めた事項。

第18条 会計幹事は支部内の会計に当り、会計監査は会計を監査する。

第5章 会 議

第19条 支部の会議は総会、正副支部長会及び支部幹事会の3種とする。

第20条 総会は定期総会、臨時総会とし定期総会は年1回開催し、臨時総会は支部長が必要と認めた時、幹事会の議を以って招集される。

第21条 総会に於いては幹事会の決議事項を報告し、議決を求めると共に会員相互の親睦を図る。

第22条 正副支部長会は支部長が必要と認めた時これを召集する。

第23条 幹事会は毎年1回以上支部長が召集する。但し幹事の過半数が、会議の目的たる事項を示し幹事会招集を請求した場合、支部長は直ちにこれを招集しなければならない。

第24条 会議は出席者の過半数を以って決し、賛否同数の場合は議長之を決する。

第25条 正副支部長会は支部長及び副支部長を以って構成し、幹事会は顧問、支部長、副支部長、幹事、会計幹事及び会計監査を以って組織する。

第6章 会 計

第26条 支部の経費は支部会費、本部補助金、寄付金及びその他の収入を以ってこれに当てる、支部年会費は二千円とする。

第27条 支部の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日までとする。

第28条 支部の予算は毎会計年度の始めの幹事会の議に付し、決算は毎会計年度の終了後、会計監査の意見を付して総会に報告しなければならない。

第7章 附 則

第29条 会員にして支部及び母校の名誉を毀損する行為若しくは支部の秩序を乱す行為がある時はこれを除名することがある。

第30条 支部長は会則の実施について必要な場合は幹事会の議を経て別に細則及び内規を定めることが出来る。

第31条 この会則は平成8年8月30日から施行する。

第32条 この会則（変更）は平成18年10月8日から施行する。（追加）